

高松市香南歴史民俗郷土館

共催展

第21回

主催：城山顕彰会

城山 まつり

観

覧

無

料

郷土館HP⇒<http://www.cit-nanrekishi/index.html>



会期：令和8年4月18日[土]～5月17日[日]

場所：高松市香南歴史民俗郷土館

香川県高松市香南町由佐253番地 1

TEL：087-879-0717

開館時間：午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日 (月曜日が祝休日の場合は翌平日)

関連講演会 「藤川三溪の生涯」

日時：令和8年4月25日(土)

午前10時～11時

講師：佐々木 宏氏(藤川三溪顕彰会会長)

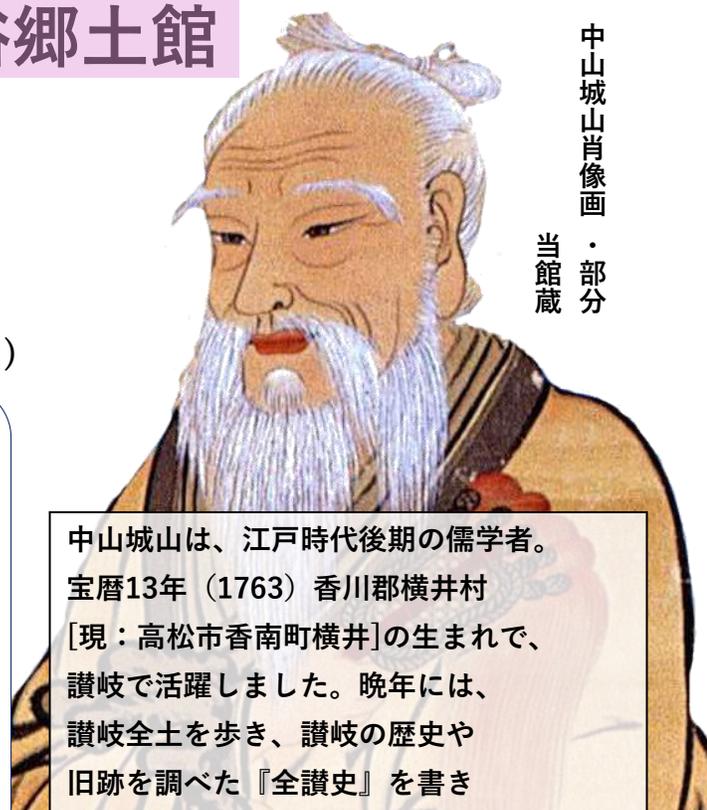
講演後、相撲甚句で演目「藤川三溪」も披露します。

場所：香南歴史民俗郷土館 2階 第1研修室

定員：25名(要申込) 参加費：無料

申込み先：高松市香南歴史民俗郷土館

(電話：087-879-0717)



中山城山肖像画・部分
当館蔵

中山城山は、江戸時代後期の儒学者。宝暦13年(1763)香川郡横井村[現：高松市香南町横井]の生まれで、讃岐で活躍しました。晩年には、讃岐全土を歩き、讃岐の歴史や旧跡を調べた『全讃史』を書きあげました。郷土史研究に欠かせない貴重な資料を残した人物です。

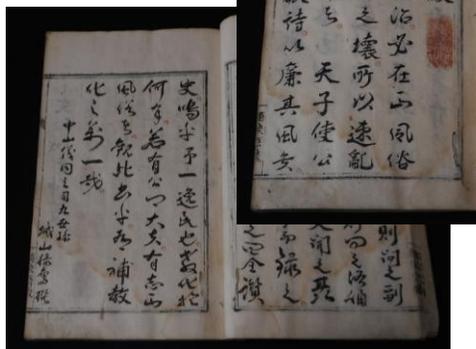


中山城山の陶像

昭和12年(1937)建立当時

「全讃史」

中山城山著



医者なかやまじょうざんの家に生まれた中山城山。

祖父じゅうがくしゃから儒学者になるよう願われ、三谷村みたにむら（現：高松市三谷町）の藤川東園ふじかわとうえん（藤川三溪ふじかわさんけいの曾祖父）に学び、荻生徂徠おぎゅうそらいの

「古文辞学」を自らの道としました。高松城下に塾を開いて古文辞学を教え、その門弟もんていは四国をはじめ、中国、九州などから集まり、600人を超えるほどでした。

しかし、時代は寛政。高松藩では「朱子学」が中心であり、古文辞学派の城山は排斥はいせきされました。それでも自分の道を曲げなかった城山。

60歳で、讃岐全土をくまなく歩いて名所・旧所を調査し、讃岐の歴史や風土を明らかにした『全讃史』ぜんさんしを書きあげました。城山はこの『全讃史』を高松藩に献上し、藩主松平頼恕まつひらよりひろにより士分の待遇が与えられました。

4月23日の城山の命日にあわせて開催するこの共催展では、城山直筆の書軸や城山の門弟などゆかりの人物の書軸など、高松市香南歴史民俗郷土館所蔵等の城山関係資料を展示します。

高松市立香南小学校・高松市立香南中学校の児童・生徒による城山の絵や書道作品も展示します。

高松市香南歴史民俗郷土館

〒761-1402 香川県高松市香南町由佐253番地1

開館時間：午前9時～午後5時

（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日

（月曜日が祝休日の場合は翌平日）

電話：087-879-0717

